

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	遠位バイパス術のグラフト閉塞に対する再バイパス術の治療成績
倫理委員会承認番号	No.19-42
研究の対象	2009年1月から2018年12月まで当院で重傷下肢虚血に対して静脈グラフトを用いて施行した遠位バイパス術252例のうち、遠隔期にグラフト閉塞し再バイパス術を施行した44例を対象とします。
研究目的・方法	重傷下肢虚血は放置すると下肢壊疽にいたり、大切断を余儀なくされます。一般に重症下肢虚血症例は下腿に病変を有しています。治療はカテーテルによる血管内治療かバイパス術が選択されますが、カテーテル治療は開存率が悪く、全身麻酔が可能な症例ではバイパスが選択されます。しかしカテーテル治療よりも良好な成績のバイパス術でも5年開存率は70%程度であり、遠隔期閉塞する症例はあります。この場合症状が再発すれば、再バイパスを行います。その成績についての検討はきわめて少なく、今回その成績を後ろ向きに検討し、有用性を検討したいと思います。
研究に用いる 試料・情報の種類	術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過などを診療録、検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
外部への 試料・情報の提供	当院で検討を行うため、外部への資料・情報の提供は行いません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は論文投稿を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> (無) ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 心臓血管外科 研究責任者：小林 平 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	